

## 岐阜県立可児工業高等学校

学 校 長 林 千尋

学校住所 可児市中恵土2358の1 電話 0574-62-1185

**1 会議の名称** 平成24年度可児工業高等学校学校評議員会 (第2回)

**2 会議の構成**

委 員	一枚田キヨ江	会社役員
	高橋 知久	可児市中恵土自治会連合会長
	藤田 幸夫	(株)甲山製作所社長
	山口 清江	可児市青少年育成アドバイザー
	渡邊 治	可児市下恵土自治会連合会長
		(委員名五十音順)

学 校 側	林 千尋	校長
	井戸 好彦	教頭
	藤井 健二	事務長
	広瀬 和生	教諭 (教務部長)
	兼松 竹司	教諭 (生徒指導部長)
	水野 茂之	教諭 (進路指導部長)
	酒井 眞二	教諭 (工業部長)

**3 会議の目的** 岐阜県立可児工業高等学校評議員会設置要綱に基づき、平成24年度の教育方針・重点及び学校課題を説明し、それについての幅広い意見・提言を受け本校教育の改善・充実に資するとともに、開かれた魅力ある学校づくりを推進する。

**4 会議の開催** 平成25年2月13日(水) 13:20~16:40 可児市文化創造センター  
評議員4名(1名欠席)と学校側7名が出席

### 5 会議の概要

(1) 平成24年度「課題研究発表会」参観

可児市文化創造センターにおいて開催した「課題研究発表会」を学習成果の一部として各科代表の発表を参観して頂いた。

(2) 学校長挨拶

厳しい社会情勢が続いていますが、本年度も県外53名を含む128名の就職、国立大学2名を含む53名進学者全員の進路が決定しました。また、平成24年度「キャリア教育優良学校」として文部科学大臣表彰を受賞することができました。今後も受賞校としての誇りを持って実践力のある生徒の育成に努力していきたい。

(3) 学校の近況と課題の説明

全 体 説 明：第1回評議員会で頂いた意見について、対応処理表を参考に取り組み状況を説明し、継続的な活動課題を確認した。

教 務 部：生徒の意欲を引き出す授業改善に向け、2回の授業公開週間の実施や職員の実践報告書を作成し互いの研修交流とした。基礎学力の定着では新たに

確認の考査を導入するなど、さらに充実していきたい。新教育課程では26年度の2年生から進学系の実践がスタートする計画で、その内容の充実が大きな課題と考えている。

生徒指導部：全体的には落ち着いた学校生活を送っているが、いじめや問題行動で指導することもあった。遅刻指導を柱に専門高校として基本的生活習慣の指導を重点に学校一丸となって推進している。毎年1年生に問題が多く入学後の適応指導の充実を課題に取り組んでいる。

進路指導部：今年も3年生全員の進路を決定することができたが、就職試験は年々厳しくなっている。社会に受け入れられ活躍できる生徒の育成に、学校全体の共通理解と実践が重要である。また幅広い進学対応についても更に充実させたい。

工業部：本年度も各種イベントなどに積極的に参加し地域との交流を図ることができた。ものづくりの楽しさを通して、社会の一員として逞しく生きていける人づくりを目指している。

#### (4) 協議 テーマ「課題研究発表会の感想と学校への提言」

意見 1 難しい発表かと懸念していたが、誰にでも分かりやすいようにと聴衆を意識した発表内容で感心した。ものづくりが好きになれる学校だなと感じた。

意見 2 発表内容に失敗の繰り返しや、何度かの改良が紹介されていた。失敗から得られるものは大きく、その経験と改善の姿勢が社会では重要で今後の力に繋がると思う。失敗を大切にしている教育活動を展開して欲しい。

意見 3 発表テーマが身近で良かった。小グループで取り組む授業のようだが、チームワーク良く活動している様子が見られ、発表態度や内容も良かった。

意見 4 プレゼンテーションの技術が昨年と比較しとても向上した。資料の分かりやすさや発表形式の演出も工夫され、聞く人を引きつけていた。

意見 5 遅刻防止など基本的な生活習慣指導は大切である。新入社員でもこの意識がないと社会生活について行けなくなり辞めてしまうケースもある。

意見 6 地域の学校として今後も活躍して欲しい、今後も地域の自治会行事には是非参加して欲しい。

意見 7 朝の交通安全指導で街頭に立っているが、挨拶をしてくれる生徒が増えた。学校内では当然でも、外でできることがその子の力になっている。

## 6 会議のまとめ

学校評議員の方々には、「課題研究発表会」を参観して頂くことで、ものづくりを通し社会から期待される人材育成を目指した教育活動に理解を深めて頂いた。2回の評議員会では、外から見た本校の印象や学校に対する期待など貴重なご意見を頂くとともに、将来に向けての指針を示して頂いた。授業が基本、生徒が目をは輝かせる魅力ある授業づくりや失敗から学ぶものづくり教育の大切さなどのご意見は、我々が最も大切にしなければいけない日常の活動を再確認させて頂きました。地域からの期待も大きく、地域の力を借りながらの生徒育成の充実と、交通事故防止や安全で安心できる学校運営は今後も重要な課題と位置づけ推進していきたい。